

izシリーズ

バージョンアップソフト (iz/「 」)

取扱説明書

— 目次 —

1.はじめに (必ずお読みください)	2
2.ダウンロード用プログラムの起動～主装置プログラム更新 (ダウンロード)	3

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみ使用して戴くことができます。

1.著作権

バージョンアップソフト(iz/「 」) (以下本製品 (構成する全てのプログラムやファイル))の著作権は株式会社日立製作所、株式会社日立コミュニケーションテクノロジー、及び株式会社ナカヨ通信機にあります。

本製品のどの部分も、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

2.使用範囲

本製品の使用は特定の一台中装置のプログラムバージョンアップのみに限る。使用にあたって、本製品に添付の登録票に必要事項を記入し印刷されている番号にFAXにて送付すること。

3.複製の制限

使用にあたっては、複製を作成してはならない。

4.制限事項

他者に本製品の複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本製品を電送してはならない。本製品は企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本製品を逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本製品やその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本製品やその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5.機密保持

使用にあたっては、本製品の機密性を保持し、いかなる理由があっても本製品を第三者に開示しないこと。更に、第三者に本製品に対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

6.賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

7.輸出

本製品または関連文献をいかなる形態においても輸出または再輸出しないこと。

本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やパソコン側の環境によって異なる場合があります。

1.はじめに (必ずお読みください)

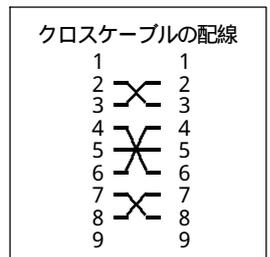
1-1 本製品の構成

	構成	備考
ディスク	ダウンロード用プログラム	ダウンロード実行用
	主装置バージョンアップソフト	
	バージョンアップソフト取扱説明書	本説明書のPDFファイル
添付品	バージョンアップソフト取扱説明書	本説明書
	取扱説明書	主装置に添付の取扱説明書と同じ(1)
	工事 保守マニュアル	主装置に添付の工事 保守マニュアルと同じ(1)
	システムデータシート	主装置に添付のシステムデータシートと同じ(1)
	登録票	バージョンアップユーザの各情報記入用紙(2)

- 最新の主装置と同じ。時期によっては「追補版」等の別冊やチラシ類が添付される場合があります。
- バージョンアップ完了後、必要事項を記入し印刷されている番号にFAXにて送付すること。

1-2 パソコン側の条件

- (1)パソコン：DOS/V (PC-AT互換機)
- (2)OS：Windows[®] 98SE 日本語版 または Windows[®] ME 日本語版
- (3)CPU：Intel[®] Celeron[™] 500MHz相当以上
- (4)必要メモリ容量：64MB以上
- (5)ハードディスク容量：50MB以上 (セットアップ時)
- (6)画面サイズ：800×600ピクセル以上
- (7)必要なハードウェア：COMポート(RS-232C、Dサブ9ピンコネクタ)
USB RS-232C変換アダプタは、(株)アイ・オー・データ機器製「USB-RSAQ2」、エレコム(株)製「UC-SGT」のみ使用可能
- (8)主装置との接続：両端Dサブ9ピンメスコネクタのインターリンク接続用クロスケーブル(6m以内)
(ケーブルの配線は右図のとおりです。異なる配線のケーブルは使用できません。)



1-3 ダウンロード用プログラムのインストール

ディスクの中の「DDU****.EXE」ファイルを実行します。(****は機種等によって異なります。)
インストール先をCドライブ以外に指定したい場合は、本ファイルをパソコンのデスクトップ等にコピーしてから実行してください。
以降、画面の指示に従ってください。

最新の「パソコンデータ設定用プログラム (iZ/「」)」がインストールされている場合は、ダウンロード用プログラムのインストールは不要です。

プログラム名

パソコンデータ設定用プログラム (iZ/ S) の場合... 「DDUPA-IZ S.exe」
パソコンデータ設定用プログラム (iZ/ M) の場合... 「DDUPA-IZM.exe」

本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

本プログラムは「パソコンデータ設定用プログラム」の一部の機能を使用していますが、主装置のプログラム更新以外の用途に使用しないでください。データ設定やパソコンリモートサービスを行う場合は、必ずインターネットサイトよりダウンロードした最新の「パソコンデータ設定用プログラム (iZ/「」)」を使用してください。

1-4 本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

[スタート] [設定(S)] [コントロールパネル(C)] [アプリケーションの追加と削除] を選択する。

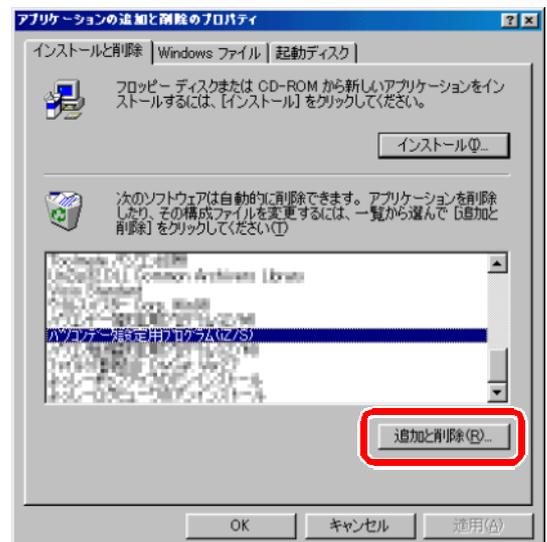
削除したいプログラムを選択し、**[追加と削除(R)]** をクリックする。

(右図は「パソコンデータ設定用プログラム (iZ/ S)」を選択した例)

『ファイル削除の確認画面』が表示されますので、削除してよい場合は **[OK]** をクリックします。

削除しない場合は **[キャンセル]** をクリックします。

以降、画面の指示に従ってください。



Windows[®] 98SEはMicrosoft[®] Windows[®] 98 Second Edition operating systemの略です。
Windows[®] MEはMicrosoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating systemの略です。
Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

2.ダウンロード用プログラムの起動～主装置プログラム更新(ダウンロード)

事前確認 (「工事 保守マニュアル」を参照してください。)

主装置とパソコンは接続されているか？ (両端Dサブ9ピン、インターリンク接続用ケーブルを使用)

プログラム更新は基本のRS-232Cポートからのみ可能です。また、データ設定は不要です。

主装置の電源を入れたままプログラム更新を行います。プログラム更新中は電話機を使用できません。(停電用電話機は使用可能)

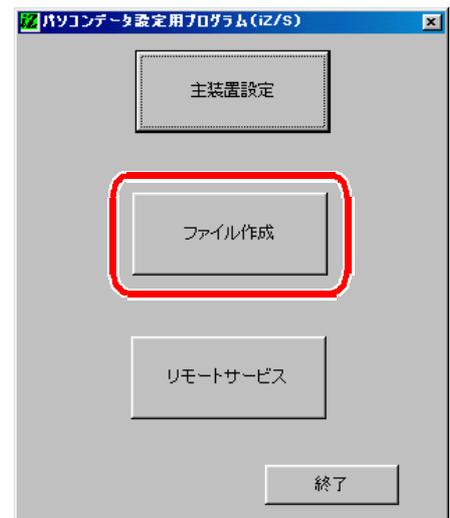
念のため、プログラム更新の前にデータ設定や短縮データのバックアップをとってください。詳細は「パソコンデータ設定用プログラム (Z/「」)」の取扱説明書を参照してください。

なお、データのバックアップを行う場合は、インターネットサイトからダウンロードした最新の「パソコンデータ設定用プログラム (Z/「」)」を必ず使用してください。

パソコンデータ設定用プログラム (Z/「」)と同じインターネットサイトからダウンロードできます。

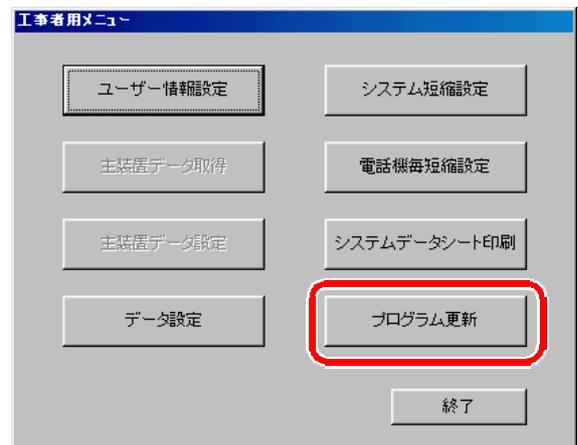
1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

「ファイル作成」をクリックする。



2 「工事者用メニュー画面」が表示される。

「プログラム更新」をクリックする。



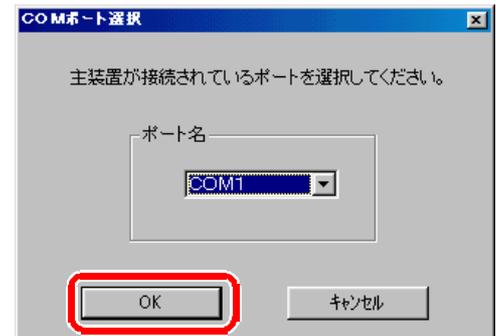
3 「COMポート選択画面」が表示される。

パソコン側のCOMポートを選択して「OK」をクリックする。

COMポートは「COM1」～「COM8」まで選択できます。

COMポートがオープンできない場合は「COMポートオープンエラー画面」が表示されます。

「OK」をクリックすると「COMポート選択画面」に戻りますので、接続等を確認して操作をやり直してください。

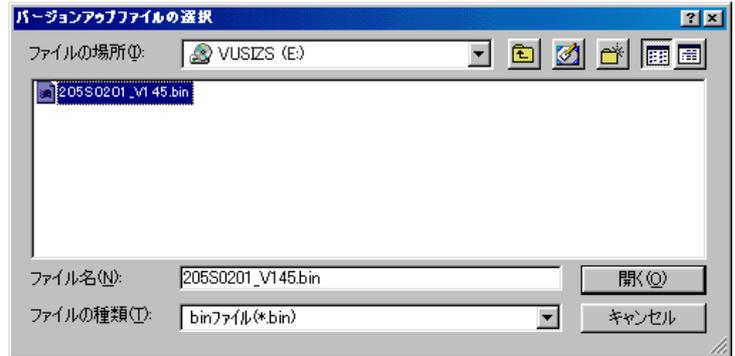


4

『バージョンアップファイルの選択画面』が表示されるので、「ファイルの場所 (D)」でCDドライブを選択する。

使用するファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、使用するファイルをダブルクリックする。

ファイル名の先頭8桁は、西暦下1桁 + 月2桁 + 機種(SまたはM) + ROM版数4桁を示します。(アンダーバー以降は工場管理番号)



5

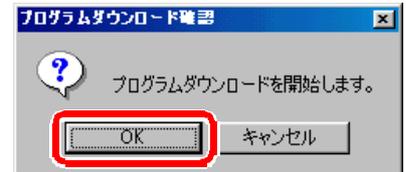
『プログラムダウンロード確認画面』となるので、ダウンロードしても良い場合は **OK** をクリックする。

ダウンロード実行中は中断できないので注意してください。

キャンセル をクリックすると、『バージョンアップファイルの選択画面』に戻ります。

ダウンロードを開始すると、『プログラムダウンロード実行画面』が表示されます。インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。

ダウンロードが完了すると、『プログラムダウンロードの終了画面』が表示されますので、主装置の電源を切り、主装置を立ち上げ直してください。また、本プログラムを終了してください。



ご注意

ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面の **OK** をクリックします。
主装置の電源をOFFにし、約10秒経過後にONにします。

「工事者用メニュー画面」(P3参照)まで戻ってから操作をやり直してください。

(株)アイ・オー・データ機器製のUSB RS-232C変換アダプタ「USB-RSAQ2」を使用していてエラーとなった場合は、下記の手順でダウンロードをやり直してください。
主装置の電源をOFFにする。
主装置の電源をOFFにしたまま、パソコン側で操作1~操作5まで行う。
「プログラムダウンロード実行中画面」になったら、主装置の電源をONにする。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [画面] [設定] でディスプレイの色を256色などに変更することで回避できる場合があります。

上記の対策を行っても、「受信タイムアウトエラー発生」、「CE_OVERRUNエラー発生」が多発するパソコンは、下記の設定を行ってください。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [システム] [デバイス マネージャ]
使用する通信ポートを選択 [プロパティ] [ポートの設定] [詳細設定]
受信バッファを「低」の位置に設定

バックアップしたデータ設定を主装置にダウンロードすると、パソコン側でデータ設定可能なデータ以外は初期状態となります。
初期状態となったデータは再設定が必要ですので、紙などに記録しておいてください。

再設定が必要なデータ

・工事 保守マニュアル(2.データ設定マニュアル編)、「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド(*034、*035を除く)。

データ設定で対応していないコマンド

※ 00:設定電話機、※ 01:着信拒否、※ 02:非通知着信拒否、※ 03:コントラスト設定、
※ 05:着信識別、※ 06:発番号ホットライン、※ 11/12:タイムアラーム、※ 13:話中 応答遅延転送、
※ 15:不在転送転送先(外線)、※ 31:予算登録、※ 7:BGM、※ 90+00:短縮番号自動変換の変換日時

・電話機や多機能コンソールのプログラマブルキーに設定したDSS/BLF、ワンタッチダイヤル、ボックスポタン、内線名称、ボイスメモ機能ボタンの登録内容

・多機能コンソールの25~32ボタン(奥側の8個のボタン)の登録内容